

いしづち

愛媛労災病院広報紙第15巻第2号
(通巻第76号)
2016年4月5日発行
発行人：院長 宮内文久

理念

当院は働く人々のために、そして地域の人々のために信頼される医療を目指します

基本方針

1. インフォームドコンセントの実践
2. 安全かつ良質な医療の提供
3. 勤労者医療の推進

当院では、医の倫理と病院の理念に基づいた医療を積極的に推進していくため、患者さまの基本的な『権利と責務』を、以下のように宣言します。

【患者様の権利】

- 1) 人としての尊厳を保ちながら、良質の医療を受ける権利
- 2) 十分な説明と情報提供を受け、自らの意思で治療法の決定やセカンドオピニオンを希望する権利
- 3) 個人に関するプライバシーを保護される権利

【患者様の責務】

- 4) 疾病や医療を理解するよう努力する義務
- 5) 医療に積極的に取り組む義務
- 6) 快適な医療環境づくりに協力する義務

法人統合について

事務局長 阿部 彰彦

愛媛労災病院は、厚生労働省所管の「労働者健康福祉機構」という独立行政法人ですが、独立行政法人改革に伴い、本年4月1日をもって同じく厚生労働省所管の労働安全衛生総合研究所と法人統合し「労働者健康安全機構」と改称いたしました。

統合後の労働者健康安全機構は、引き続き労災病院や医療リハビリセンター等の設置運営等により労災疾病等に関する予防から治療、リハビリ、職場復帰支援に至る一貫した高度・専門的な医療の提供（勤労者医療）、病院ネットワークを活用した症例データ等の収集・研究（労災疾病等医学研究）を行い、医療技術や知見を開発・確立し、診断・治療法等を労災指定医療機関等に普及等を行うほか、労働安全衛生施策の基礎となる科学的データの提供、大規模・複雑な労働災害の原因究明・再発防止のための調査を行い労働者の健康の保持増進、職場における労働者の安全及び健康の確保を進めていきます。

当院においても、勤労者医療を推進するため、アスベスト健康診断、愛媛県全域の振動障害巡回健康診断を実施し、また、少子高齢化による労働

人口の減少、就労者の年齢構成も高齢化している中、疾病の重症化の防止、疾病により休業中の労働者の早期職場復帰、復帰後の労働者への治療と就労の両立への支援は重要なことから労災疾病等医学研究等として、①「夜間労働が女性の健康に及ぼす影響等の研究（「就労支援と性差」分野）」や、②女性特有の疾病等が就労に及ぼす影響及びその治療と就労の両立に関する調査研究、③「糖尿病」分野の治療就労両立支援モデル事業を行っているところです。

統合により労災病院の臨床研究や医療提供の機能、安衛研の高度な基礎研究・応用研究機能を有機的に統合し予防・治療・職場復帰支援を総合的に展開していくとしているところではありますが、統合により当院の医療提供体制が変わることはないということです。軸足は、今までどおり、働く人々のために、そして地域の人々のために信頼される医療を目指し、安心・安全な医療を提供していく所存ですので、引き続きご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

脳神経外科診療を再開しました	2
南4階病棟紹介	3

睡眠時無呼吸症候群とは？	3
新規採用ドクターの紹介	4

脳神経外科診療を再開しました

脳神経外科部長 福井 啓二

平成27年4月1日より5年間のブランクを経て、脳神経外科診療を再開させていただきました。この間、川東地区を始めとして、地域の先生方、患者さんには大変ご迷惑とご面倒をおかけいたしました事を、深くお詫び申し上げます。

診療再開と共に、川東地区を始めとして、近隣の先生から多くの患者さんをご紹介いただき、ありがとうございます。おかげさまで、平成27年は4月からの9ヶ月間で、14例の脳神経外科手術を行う事が出来ました。

以下にご紹介いただきました症例を提示させていただきます。

症例1 89歳男性

4～5日前より寝てばかりで、意欲が無い。食事摂取に時間がかかるようになったため、かかりつけ医を受診。明らかな麻痺などの神経脱落症状は無いが、脳疾患が疑われ当科へ紹介となりました。

頭部MRI検査にて、高度の脳圧迫を伴った両側慢性硬膜下血腫を認めました。



奥さんへのインフォームドコンセントの後、同日局所麻酔下に、緊急で穿頭手術を施行しました。

症状は改善し、大好きなお酒も飲めるようになりました。

かかりつけの先生の眼力に感服いたしました。

症例2 85歳女性

かかりつけ医により認知症の治療を受けていた。最近歩行障害が進行したため、当科へ紹介となった。

初診時「歩ける」と言うが、立位保持すら困難な状態でした。MRI検査にて、特発性正常圧水頭症と診断しました。高齢ではありましたが、患者・ご家族共に手術を希望されたため、全身麻酔下に、V-P shunt術を施行しました。

術後、平行棒での歩行可能となり、引き続きの回復期リハビリを希望され転院した。

先日回復期リハビリを終了し、当科外来を受診。介助歩行で入室されました。

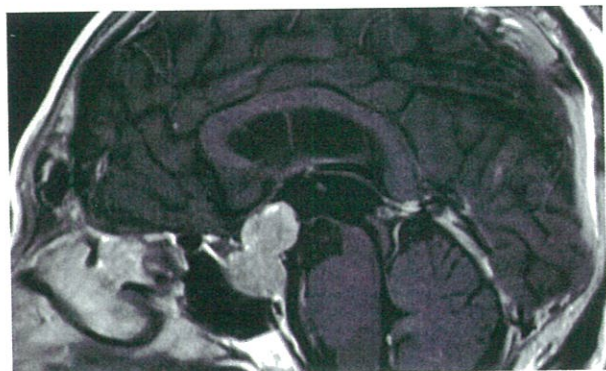
高齢者で認知症・歩行障害・尿失禁がある場合、特発性正常圧水頭症の可能性がります。高齢化社会となったためか、最近とみに患者さんが増えているように感じています。

症例3 74歳男性

4ヶ月ほど前より、意欲低下・全身倦怠感・易疲労感などを自覚し、かかりつけ医を受診されました。

貧血と甲状腺機能低下症を指摘され、当科へ紹介されました。

MRIで立派な下垂体腺腫でした。



いつもご紹介ありがとうございます。今後ともよろしく願い申し上げます。

南4階病棟紹介

南4階病棟看護師長補佐 土肥友里

南4病棟は、南館にある唯一の病棟で内科、呼吸器内科、整形外科、泌尿器科の病床数44床の混合病棟です。整形外科、泌尿器科などの手術を受ける患者さんや、呼吸器内科の慢性閉塞性肺疾患・間質性肺炎・在宅酸素療法・NPPVなどの患者教育、内科の糖尿病では、フットケアに力を入れ、糖尿病の既往がある全ての入院患者さんに対し看護師が足の観察記録を行い、患者指導につなげる取り組みを行っています。また、呼吸器内科新設から2年が経過し、更に患者指導のスキル向上のため、呼吸器内科専門医による勉強会を定期的に行い、より質の高い指導が出来るように励んでいます。

また、社会の流れが地域完結型の医療になり在院日数の短縮が求められる中、患者さんが安心して退院できるよう、MSWや介護支援専門員との連携も早期から行い、入院時からの退院支援にも

力を入れています。患者・家族と共に退院後の生活を考え、笑顔あふれるアットホームな病棟で患者・家族の心に寄り添う看護の提供を心掛けています。



睡眠時無呼吸症候群とは？

臨床工学技士 大殿光紀

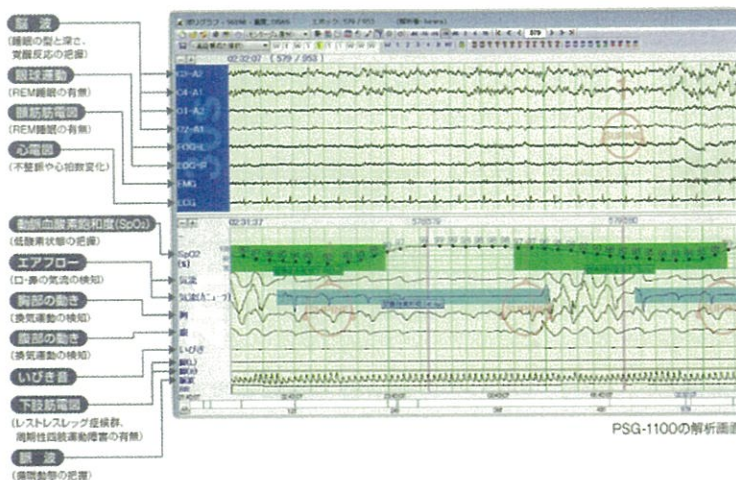
睡眠時無呼吸症候群 (SAS) という病気をご存知でしょうか？これは、眠っている間に呼吸が止まる病気です。Sleep Apnea Syndromeの頭文字をとって、「SAS (サス)」とも言われます。

いびきをかく、日ごろ熟睡感を得られない、起床時に頭痛がある、少し太り気味という場合はも

ちろんですが、糖尿病や高血圧、心臓病などがあるけれど… このような方も、SASが潜んでいる可能性が考えられます。SASの症状として実感できるものは、「いびき・無呼吸」などしかありませんが、「たかが睡眠中のことだから…」と放っておくと、生活習慣病を引き起こす、また持病がある

方はさらに悪化させる危険性が潜んでいます。SASを適切に治療することで、このような合併症が改善することもあります。

平成26年より臨床工学部では簡易検査よりもさらに詳しく、睡眠と呼吸の「質」の状態を調べることでできる終夜睡眠ポリグラフィー検査 (PSG) を行っています。またSASの治療を行う際のサポートも看護師と共に臨床工学技士が行っています。



新規採用ドクターの紹介



外科部長
むら しみ まさ のり
村上 雅 憲

診療科：外科
経験年数：16年
専門分野：血管分野
趣味：読書

コメント：

血管の病気を専門にしています。手術に限らず患者さん一人ひとりに合わせた治療計画を提案していきますので、お気軽にご相談いただけたらと思います。



小児科副部長
かわ しみ さ なえ
河上 早 苗

診療科：小児科
経験年数：16年
専門分野：
小児科一般、小児血液腫瘍
趣味：
子どもとたくさん遊ぶこと

コメント：

4月より愛媛労災病院小児科で働く河上早苗です。育児中のママでもありますので、子どもさんの気になることなど気軽に相談してください。新居浜地区の小児医療に貢献できるように頑張りますのでよろしくお願ひします。



整形外科医師
かね おか たけ ひろ
金岡 丈 裕

診療科：整形外科
経験年数：3年
専門分野：未定
趣味：釣り・テニス等

コメント：

縁あって愛媛県での医療に携わらせて頂くこととなりました。せっかく頂いたご縁を大切に、新居浜市の地域医療に貢献できるよう頑張っまいますのでよろしくお願ひ致します。

【その他診療科（非常勤医師）の変更点】

皮膚科：毎週木曜日
（現在）垣生美奈子 医師 ⇒（4月1日～）増田 香奈 医師

耳鼻咽喉科：隔週水曜日
（現在）小川日出夫 医師 ⇒（4月1日～）中田 貴大 医師

放射線科（治療部門）：
（現在）神崎 博充 医師 ⇒（4月1日～）西島 紀子 医師

※ 詳細等は別添の「各科外来診療担当医表」をご参照ください。

広報誌編集メンバー 委員長：福井脳神経外科部長 委員：木戸副院長、山田医局長、日野看護師長、和田看護師長補佐、大成薬剤師、小川作業療法士、正岡診療放射線技師、豊島臨床検査技師、滝川管理栄養士、小尻総務課長、岸上総務課員、中山診療情報管理士